

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成19年の県内鋳工業生産指数の年平均は113.2（平成17年＝100）で（年指数については、原指数によります。以下同じ。）対前年比7.2%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみますと（四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。）1期108.9（対前期比0.4%増）、2期113.2（同3.9%増）、3期113.7（同0.4%増）、4期117.1（同3.0%増）となりました（表9、図5）。

これを業種別に対前年比で見ますと、一般機械工業45.6%、プラスチック製品工業20.6%、情報通信機械工業20.4%、窯業・土石製品工業19.2%、食料品工業16.7%、家具工業8.6%、鋳業7.3%、石油・石炭製品工業6.4%、電力・ガス事業6.3%、非鉄金属工業6.2%、電子部品・デバイス工業2.9%、木材・木製品工業2.9%、電気機械工業2.6%、パルプ・紙・紙加工品工業2.1%とそれぞれ上昇しました。一方、その他製品工業▲23.7%、金属製品工業▲15.4%、化学工業▲6.3%、鉄鋼業▲6.2%、繊維工業▲2.5%、輸送機械工業▲2.1%とそれぞれ低下しました。ゴム工業製品は±0.0%でした。（表11）

また、財別に対前年比で見ますと、資本財42.8%、非耐久消費財13.8%、鋳工業用生産財5.1%、その他用生産財3.7%、耐久消費財0.9%とそれぞれ上昇しました。一方、建設財は▲4.3%と低下しました。（表12）

2 生産者製品在庫の動き

平成19年の県内鋳工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」とします。）の年平均は、123.6（平成17年＝100）で、対前年比20.1%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみますと、1期119.0（対前期比8.1%増）、2期122.1（同2.6%増）、3期127.8（同4.7%増）、4期125.3（同2.0%減）となりました。（表10、図5）

これを業種別に対前年比で見ますと、輸送機械工業101.2%、電気機械工業（旧分類）42.8%、その他製品工業38.9%、非鉄金属工業20.9%、家具工業14.4%、その他製品工業13.1%、窯業・土石製品工業11.1%、化学工業10.0%、鋳業6.4%、金属製品工業1.1%とそれぞれ上昇しました。一方、木材・木製品鋳業▲18.7%、食料品工業▲15.7%、プラスチック製品工業▲8.3%、パルプ・紙・紙加工品工業▲5.7%、石油・石炭製品工業▲5.2%、繊維工業▲3.6%、ゴム製品工業▲3.0%、鉄鋼業▲1.9%、一般機械工業▲1.4%とそれぞれ低下しました。（表13）

また、財別に対前年比で見ますと耐久消費財60.6%、鋳工業用生産財18.6%、資本財10.1%とそれぞれ上昇しました。一方、その他用生産財▲5.2%、非耐久消費財▲3.9%、建設財▲2.3%とそれぞれ低下しました。（表14）